

[業界別レポート] 働く人と職場2019 －ドライバー編－

2019年6月
株式会社リクルートジョブズ
ジョブズリサーチセンター

[業界別レポート] 働く人と職場 2019－ドライバー編－ とは

「[業界別レポート] 働く人と職場 2019」は、特定の業界で働く意識や職場に関する意識について、個人に調査した結果をまとめています。本レポートはドライバー(輸送・運転の仕事)を対象としたものです。

調査対象は4セグメントに分かれます。ドライバーとして現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、ドライバーとしての就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。

ドライバー業界全体に共通する魅力、より高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
まとめ ―それぞれの上位5項目―	3
1. 仕事の選択理由	5
2. 仕事を継続する理由	7
3. 離職の理由／必要を感じる改善点	9
4. 意向・非意向の理由	11
【参考】 勤務時間	13

調査概要

- ・調査名 : 特定業種に関する調査2019
- ・調査目的 : 求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法 : インターネット調査(クロス・マーケティング社モニター利用)
- ・調査期間 : 2019年3月27日(水)～3月31日(日)
- ・調査対象 : 20～59歳までの男女(全国)
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はドライバーの、計1,600人。

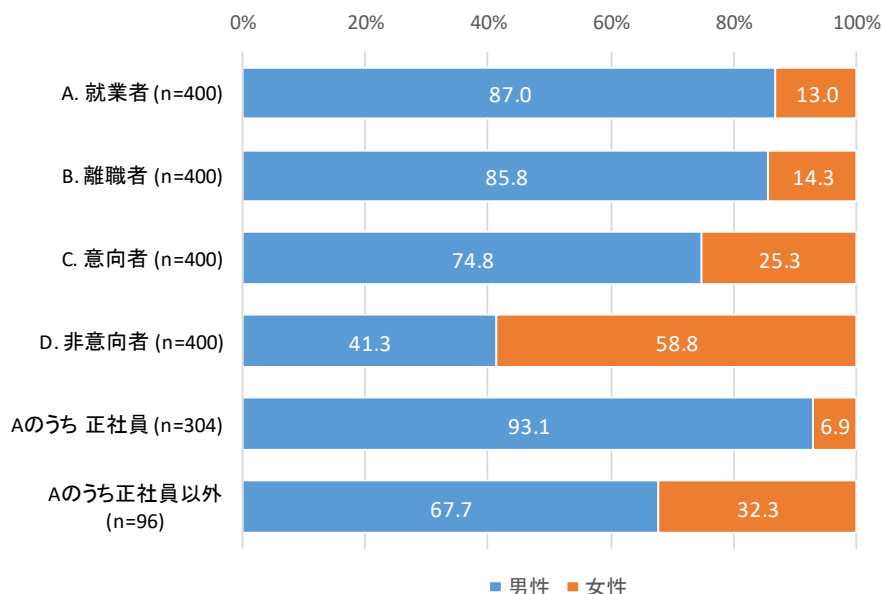
		就業経験者		就業非経験者		(人)
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
コンビニエンスストア		200	200	200	200	
アパレル・雑貨販売		200	200	200	200	
飲食店	ファーストフード	200	200	200	200	
	居酒屋	200	200	200	200	
ホテル・旅館		200	200	200	200	
介護サービス		200	200	200	200	
ドライバー		400	400	400	400	
警備		200	200	200	200	
倉庫内作業・仕分け		200	200	200	200	

※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

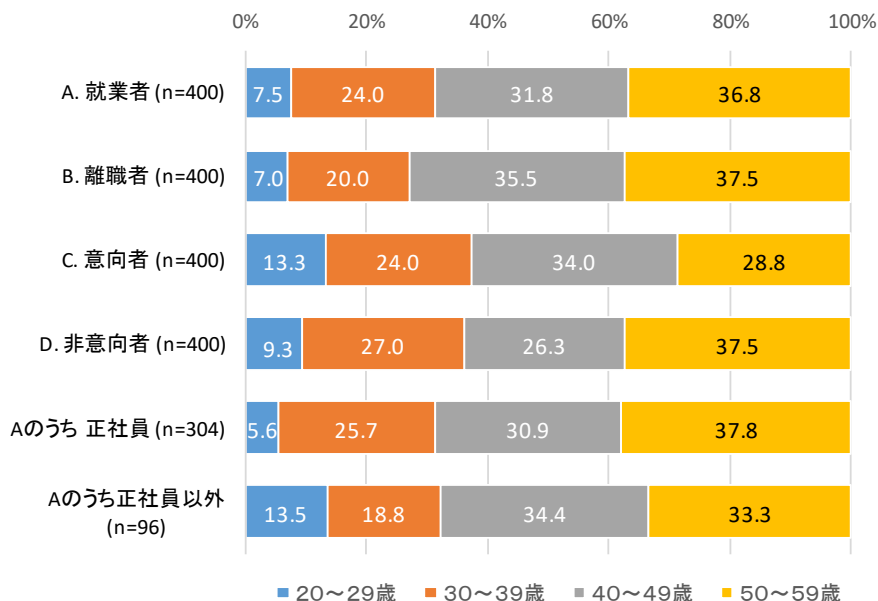
■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。D.非意向者以外はいずれのセグメントも男性の比率が高い。A.就業者、B.離職者、Aのうち正社員※¹では、8割以上が男性となっている。正社員以外※²では女性が約3割いる。



■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A.就業者、B.離職者、D.非意向者、Aのうち正社員ではいずれも50～59歳が4割弱でもっとも多くなっている。C.意向者とAのうち正社員以外では、50～59歳は約3割で、20～29歳が1割を超えている。



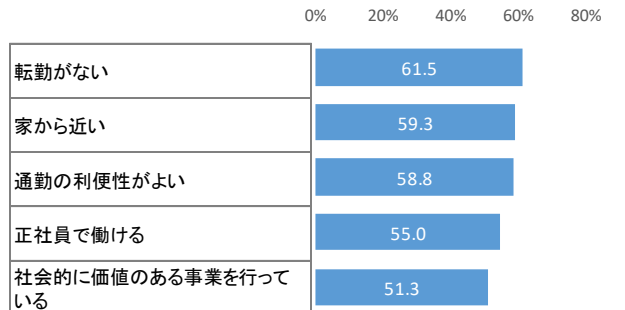
※¹ 自営業者などを含む。

※² パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、学生アルバイトは正社員以外のうち3.1%。

まとめ —それぞれの上位5項目—

■ 仕事の選択理由 就業者の上位5項目

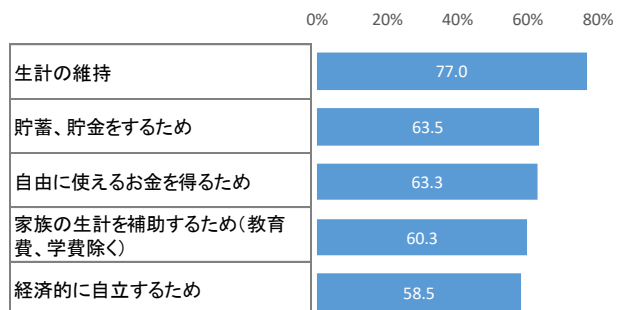
就業者がドライバーの仕事を選んだ理由は、上位3つが勤務場所についての項目だった。次いで「正社員で働ける」「社会的に価値のある事業を行っている」となっている。



(%, n=400)

■ 仕事を継続する理由 就業者の上位5項目

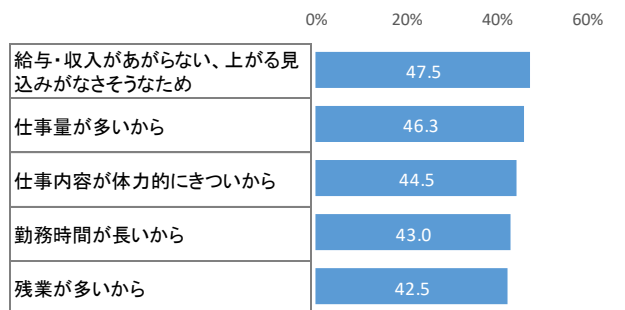
就業者に、ドライバーとしての仕事を続けている理由を聞くと、上位5項目は「生計の維持」、「貯蓄、貯金をするため」など、いずれも経済的要素となった。



(%, n=400)

■ 離職の理由 離職者の上位5項目

過去にドライバーとして働いていたが離職した人に離職理由を聞くと、もっとも割合が高かったのは給与面で、2～5位には労働負荷に関する項目があがっている。

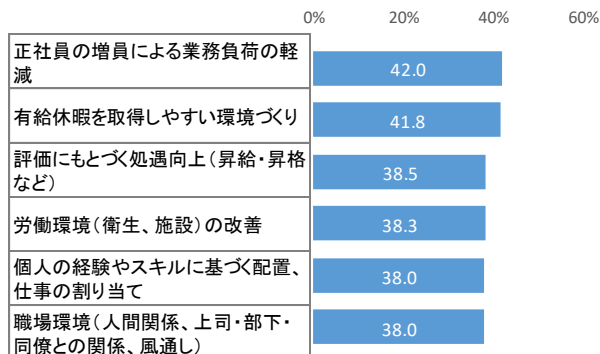


(%, n=400)

まとめ —それぞれの上位5項目—

■ 必要を感じる改善点 就業者の上位5項目

ドライバー就業者が必要を感じる改善点は、「正社員の増員による業務負担の軽減」「有給休暇を取得しやすい環境づくり」など。給与面や労働負担、職場環境・健康管理の面が上位にあがっている。

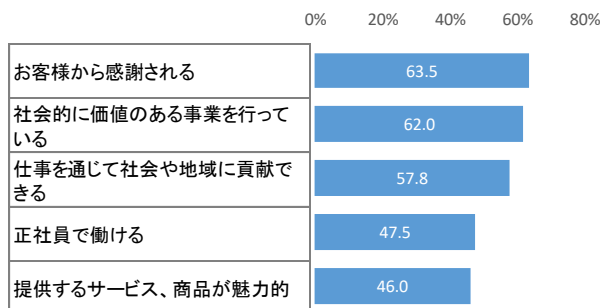


(%, n=400)

■ 意向の理由 意向者の上位5項目

ドライバーとして働いたことはないが働いてみたい気持ちがある意向者に、その理由を聞いた。

「お客様から感謝される」「社会的に価値のある事業を行っている」「仕事を通じて社会や地域に貢献できる」など、会社・事業への評価ややりがいの面が多く上位にあがった。

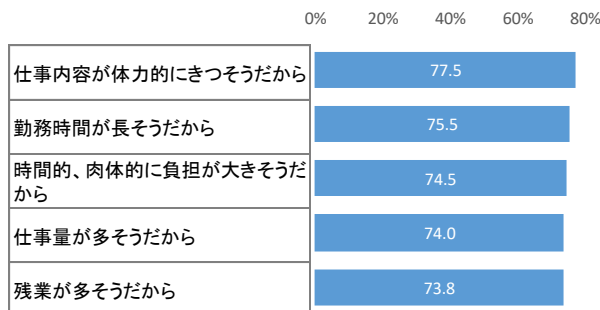


(%, n=400)

■ 非意向の理由 非意向者の上位5項目

ドライバーとして働いたことはなく働いてみたい気持ちがない非意向者に、その理由を聞いた。

上位5項目はいずれも労働負担に関するもので、「仕事内容が体力的にきつそうだから」「勤務時間が長そうだから」「時間的、肉体的に負担が大きそうだから」などとなっている。



(%, n=400)

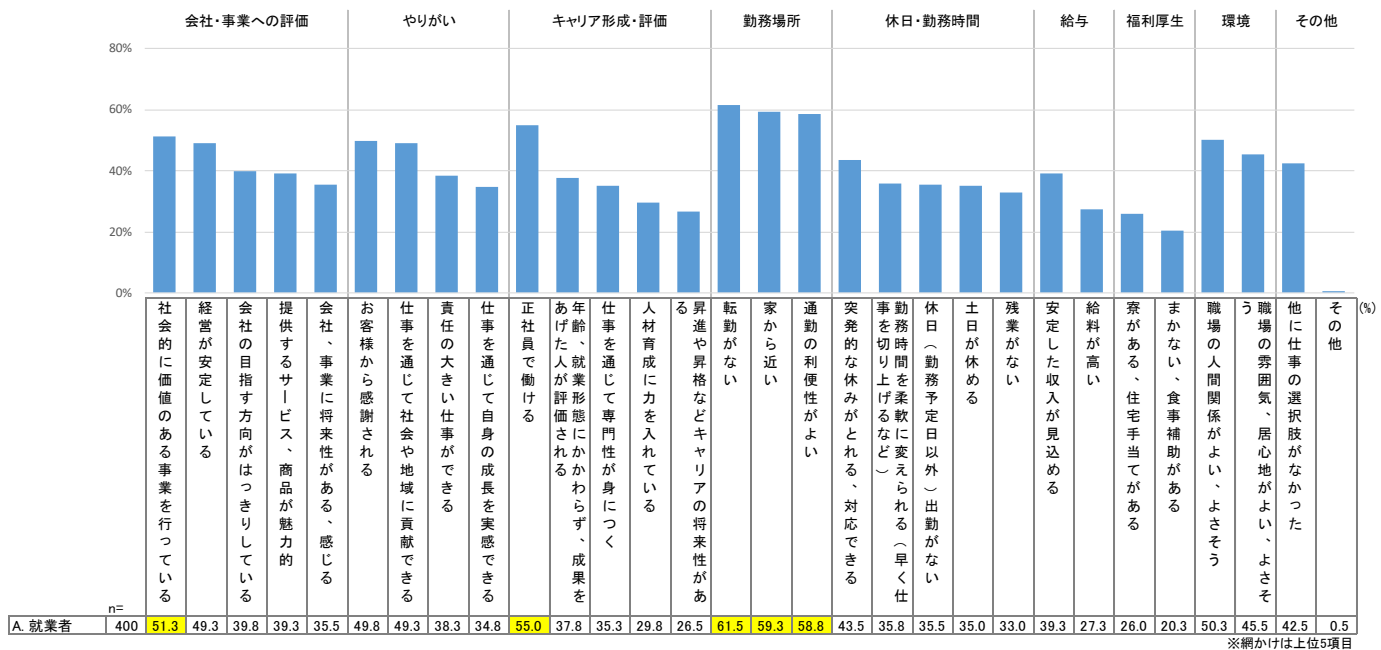
1. 仕事の選択理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

現在ドライバーとして働いている就業者に対して、その仕事を選んだ理由は何か聞いた。

就業者がドライバーの仕事を選んだ理由は、上位3つが「転勤がない」「家から近い」「通勤の利便性がよい」と勤務場所についての項目だった。次いで「正社員で働ける」「社会的に価値のある事業を行っている」となっている。

その他には、「職場の人間関係がよい、よさそう」「お客様から感謝される」なども割合が高い。



【A. 就業者】

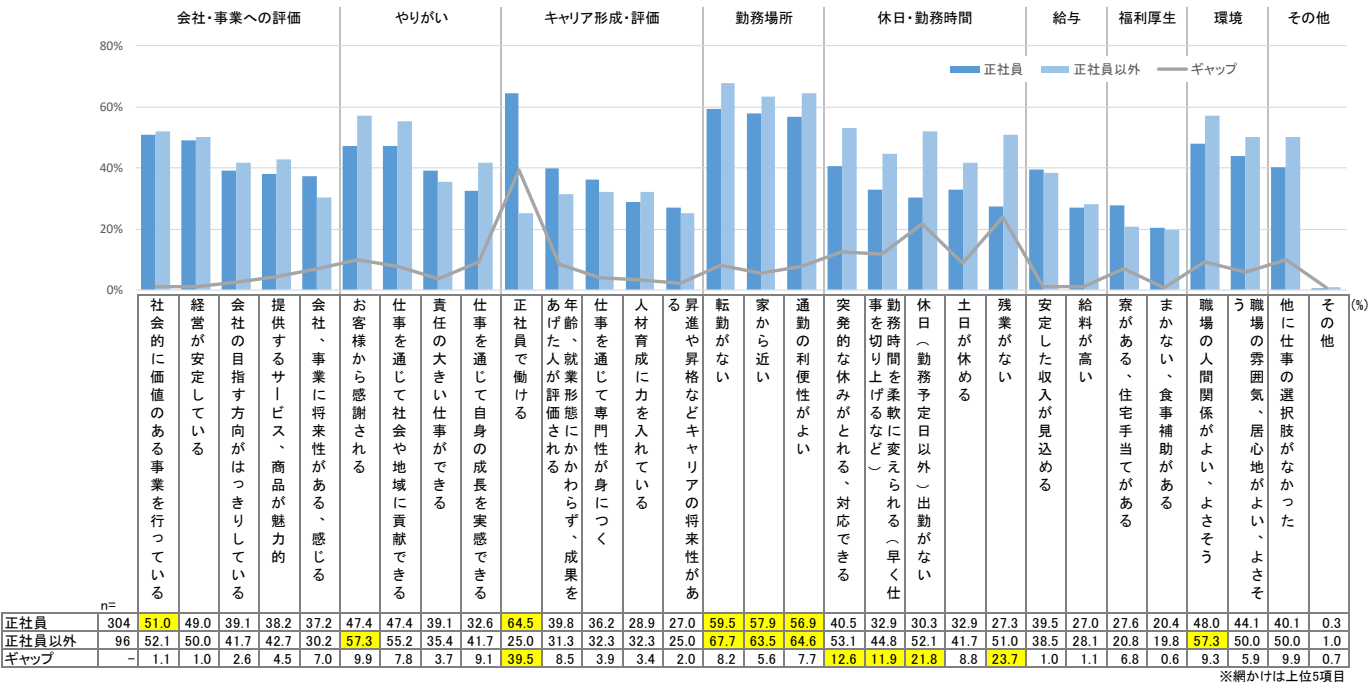
Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。
 （「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

1. 仕事の選択理由

ドライバーの仕事を選んだ理由について、A. 就業者を正社員と正社員以外で分けて見てみよう。

両者ともに「転勤がない」などの勤務場所に関する3項目が上位になっている。その他に、正社員は「正社員で働ける」「社会的に価値のある事業を行っている」、正社員以外は「お客様から感謝される」「職場の人間関係がよい、よさそう」も上位になっている。

ギャップがもっとも大きい項目は、「正社員で働ける」で正社員の方が高い。休日・勤務時間については非正社員の方が割合が高い。



【A. 就業者】

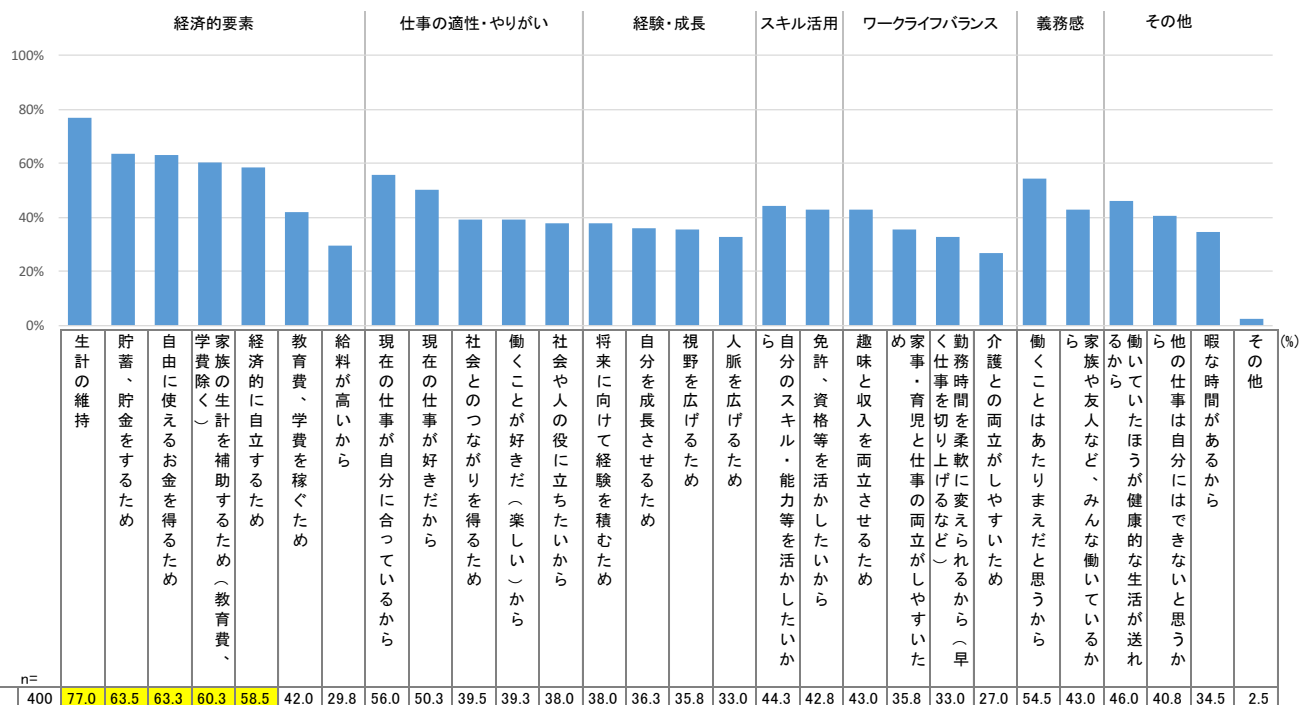
Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。
（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

2. 仕事を継続する理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

就業者に、ドライバーとしての仕事を続けている理由を聞いた。上位5項目は「生計の維持」「貯蓄、貯金をするため」など、いずれも経済的要素となっている。

また、「現在の仕事が自分に合っているから」「現在の仕事が好きだから」「働くことはあたりまえだと思うから」も5割以上の人があてはまると回答している。経験・成長やワークライフバランスに関する項目は、全体的にあまり高くないと言えるだろう。



※網かけは上位5項目

【A. 就業者】

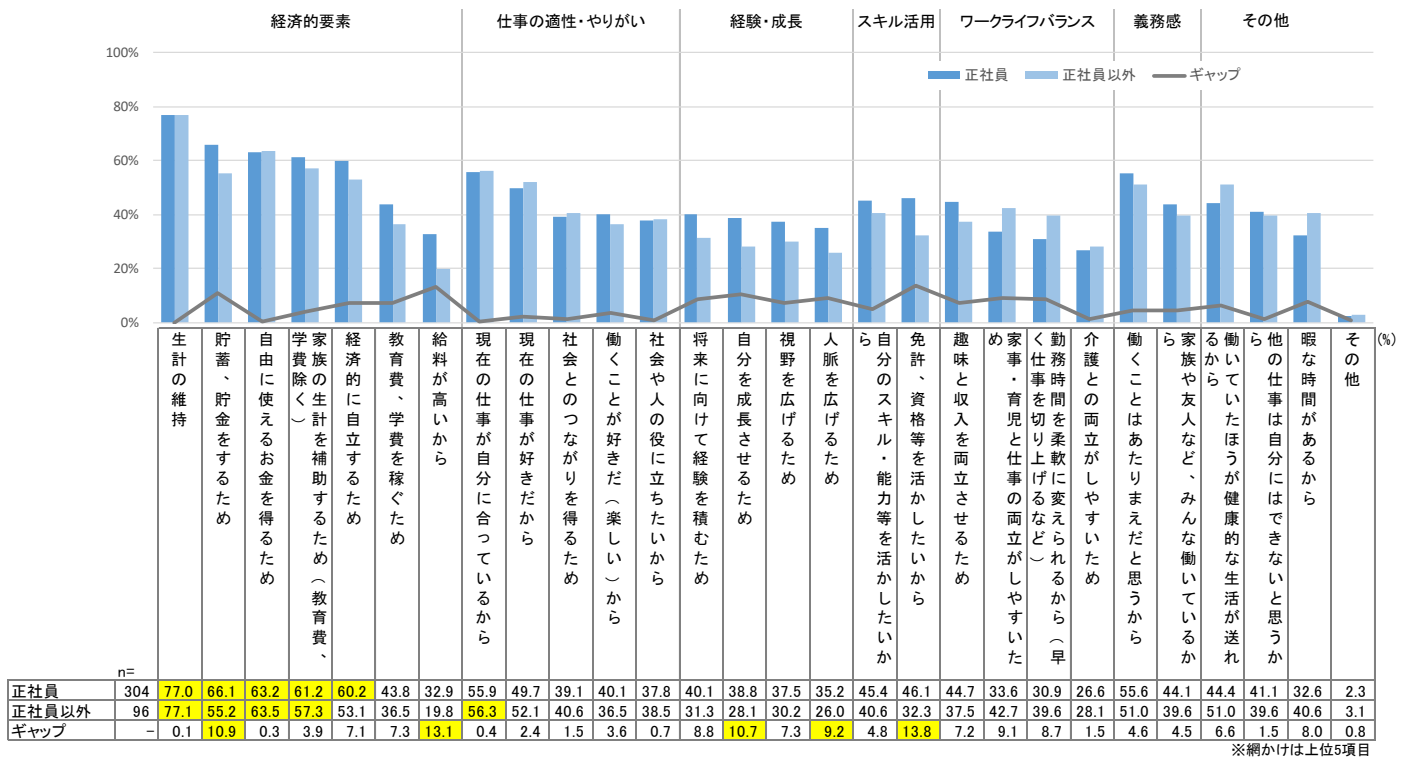
Q. あなたが現在、「輸送・運転の仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。
(「非常にあてはまる」「ややあてはまる」「計」)

2. 仕事を継続する理由

ドライバーとして働き続ける理由について、A. 就業者を正社員※と正社員以外に分けて見てみよう。
（※自営業者等を少数含む。「正社員以外」はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。）

両者ともに「生計の維持」などの経済的要素が上位だが、正社員以外では「現在の仕事が自分に合っているから」も上位5項目に入っている。

両者のギャップが大きい5項目は、「免許、資格等を活かしたいから」「給料が高いから」「貯蓄、貯金をするため」「自分を成長させるため」「人脈を広げるため」で、いずれも正社員の方が割合が高い。ワークライフバランスについては「趣味と収入を両立させるため」を除いて正社員以外の方が割合が高い。



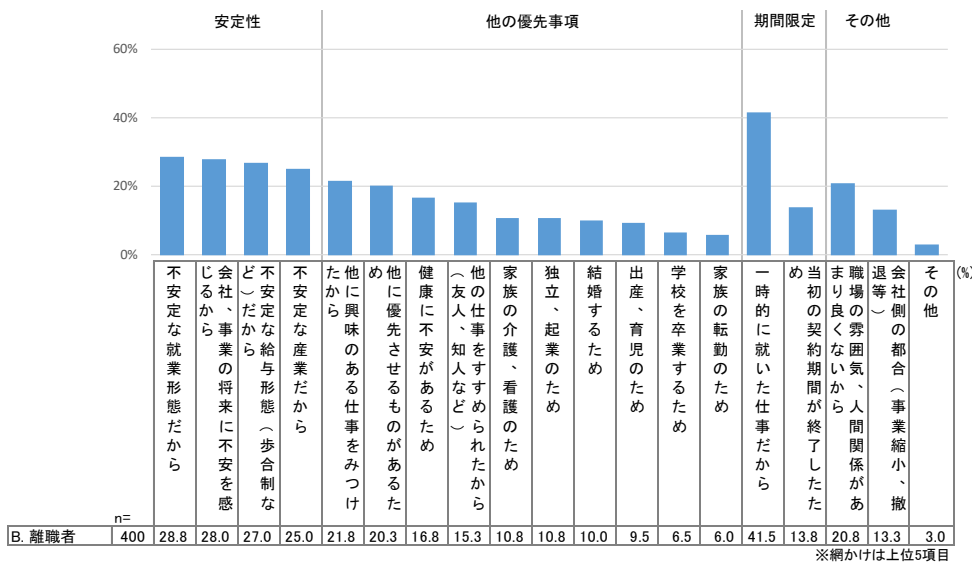
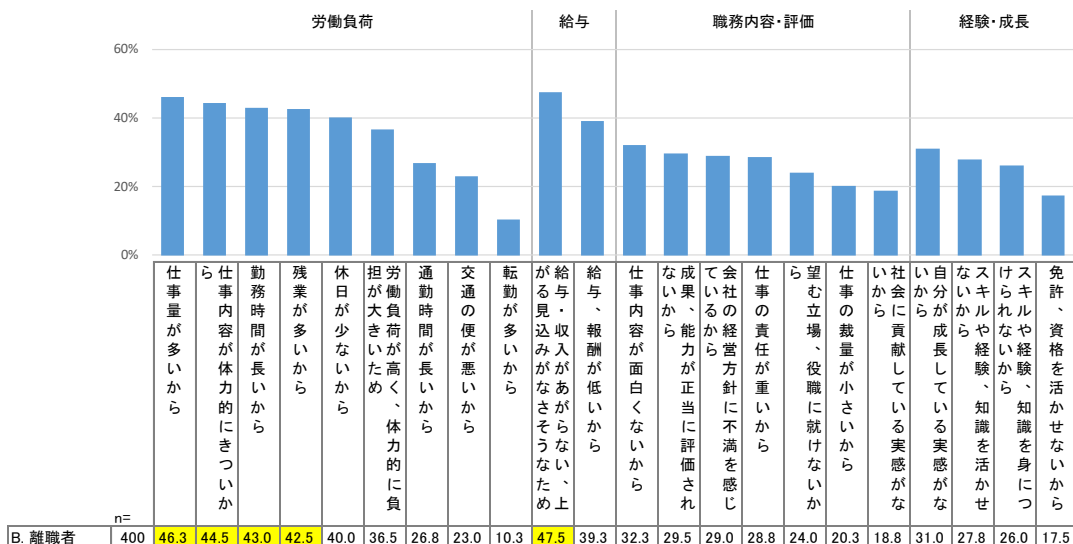
【A. 就業者】

Q. あなたが現在、「輸送・運転の仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。
（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

3. 離職の理由／必要を感じる改善点

B. 離職者／A. 就業者

過去にドライバーとして働いていたが離職した人に離職理由を聞くと、もっとも割合が高かったのは給与面で、2～5位には労働負荷に関する項目があがっている。また、「一時的に就いた仕事だから」も4割を超える。



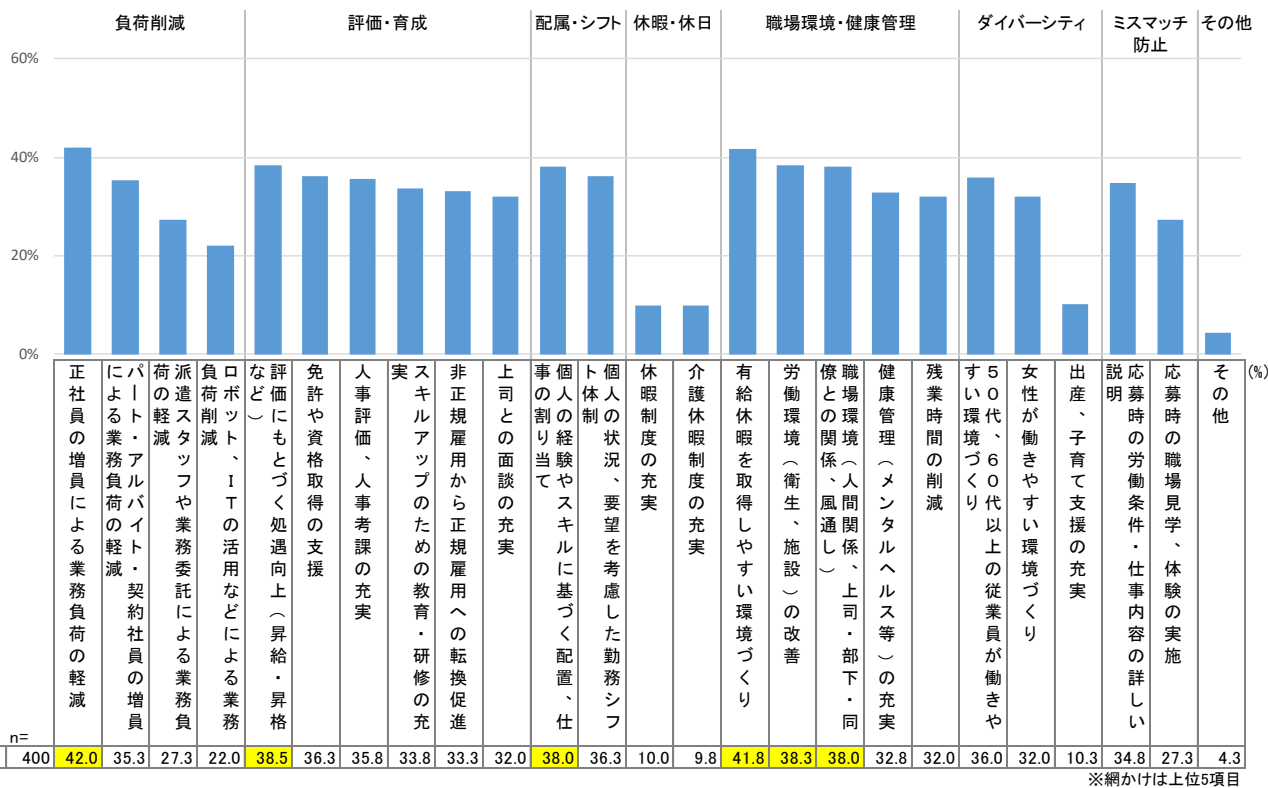
【B. 離職者】

Q. あなたが以前、「輸送・運転の仕事」で働いていたにもかかわらず離職した（やめた）のはどのような理由からですか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

3. 離職の理由／必要を感じる改善点

ドライバー就業者が必要を感じる改善点を聞くと、「正社員の増員による業務負荷の軽減」がもっとも多く、次いで「有給休暇を取得しやすい環境づくり」「評価にもとづく処遇向上（昇給・昇格など）」など。負荷削減や評価・育成（給与）、職場環境・健康管理についての項目が多く上位にあがっている。

＜必要を感じる改善点＞



※網かけは上位5項目

【A. 就業者】

Q. あなたの勤務先（店舗、事業所、支社）は何らかの改善が必要と思われますか。（「非常に必要」「必要」の割合）

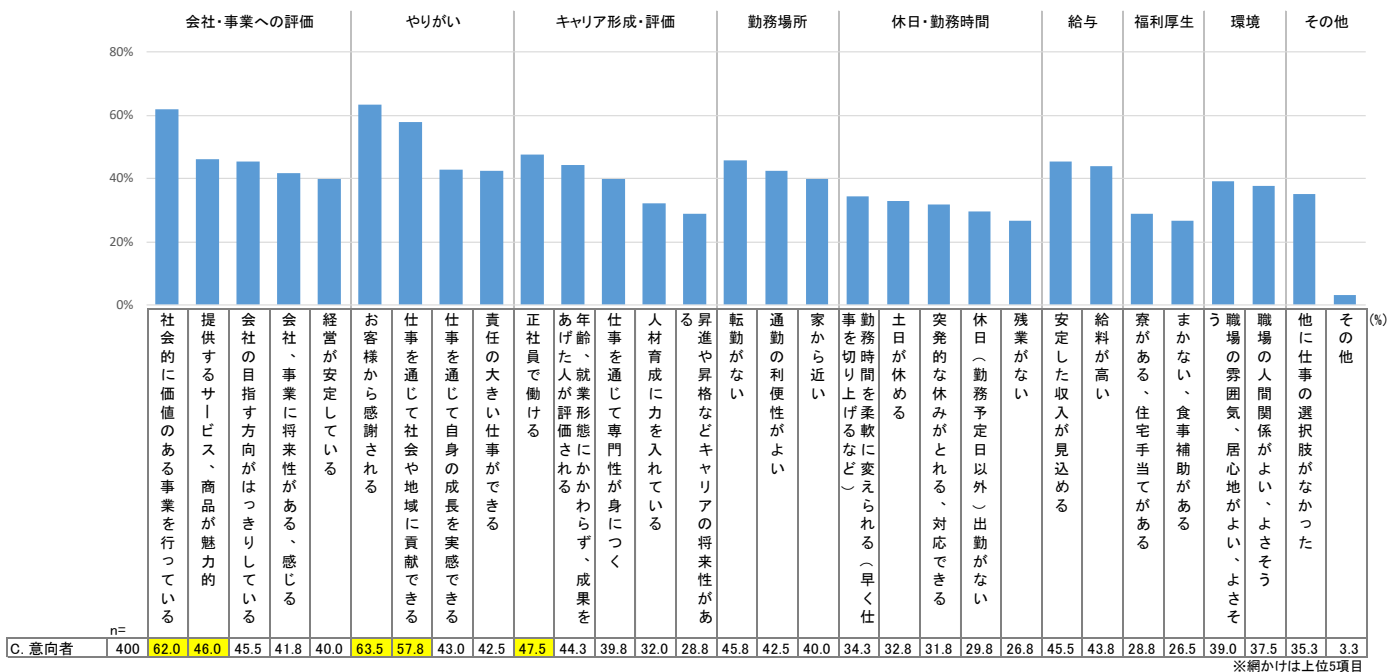
4. 意向・非意向の理由

C. 意向者／D. 非意向者

これまでにドライバーとして働いたことはないが働いてみたいという意向者に、その理由を聞いた。

もっとも多いのは「お客様から感謝される」で、「社会的に価値のある事業を行っている」「仕事を通じて社会や地域に貢献できる」「提供するサービス、商品が魅力的」など、会社・事業への評価ややりがいの面も上位にあがった。意向者はドライバーの仕事の内容に魅力を感じているようだ。

<意向の理由>



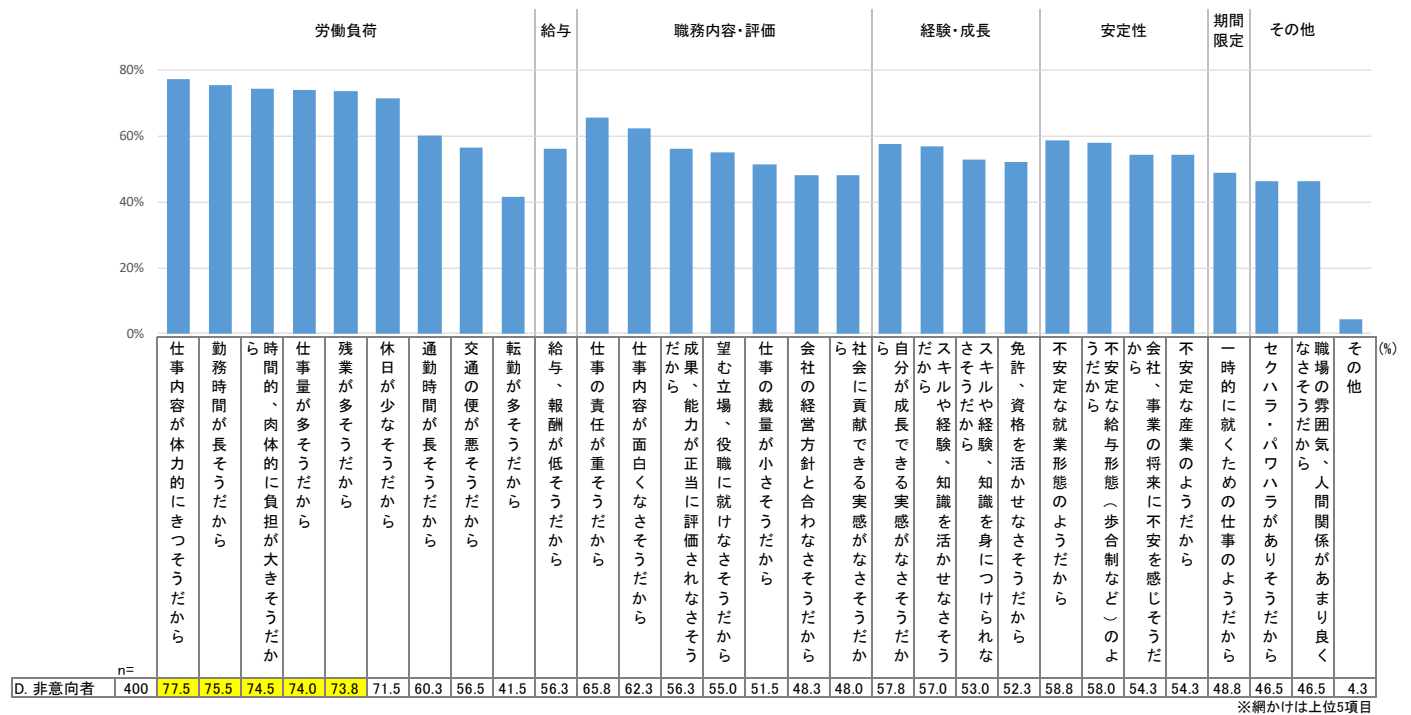
【C. 意向者】

Q. あなたが、「輸送・運転の仕事」に「是非働いてみたい」または「働いてみたい」とお答えになったのは、どのような理由がありますか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

4. 意向・非意向の理由

ドライバーとして働いたことはなく、これからも働きたくないという非意向者にその理由を聞いた。
上位5位にあがったのはいずれも労働負荷に関する項目で、「仕事内容が体力的にきつそうだから」がもっとも多く、次いで「勤務時間が長そうだから」「時間的、肉体的に負担が大きそうだから」などが続く。そのほかにも多くの項目が5割を超えており、幅広い面でドライバーの仕事に不安を感じているようだ。

<非意向の理由>



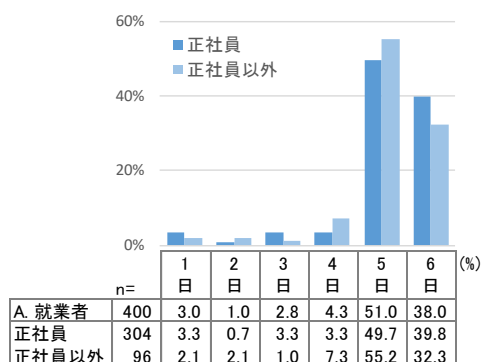
【D. 非意向者】

Q. あなたが、「輸送・運転の仕事」に「働きたくない」または「全く働きたくない」とお答えになったのはどのような理由からです。 (「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計)

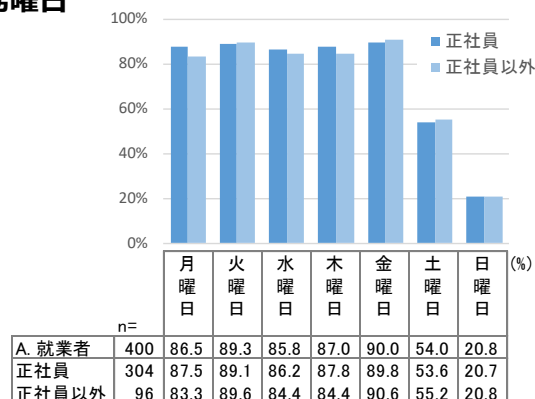
【参考】 勤務時間

A. 就業者／正社員と正社員以外

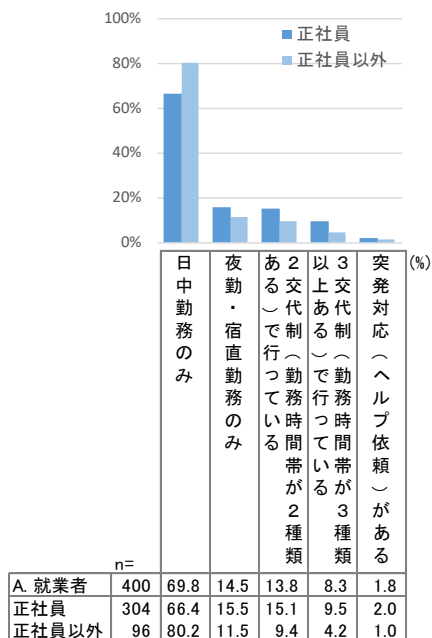
■ 1週間の勤務日数



■ 勤務曜日



■ 勤務時間帯



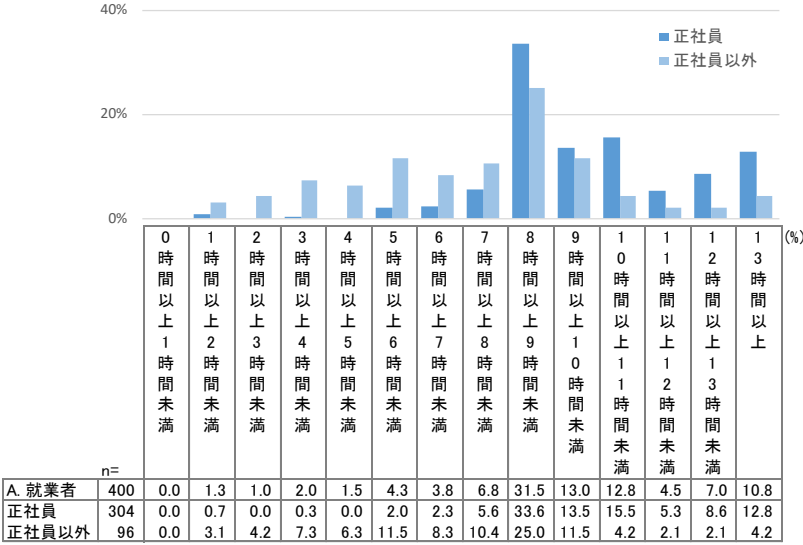
【A. 就業者】

Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1週間の勤務日数をお知らせください。（数値回答）

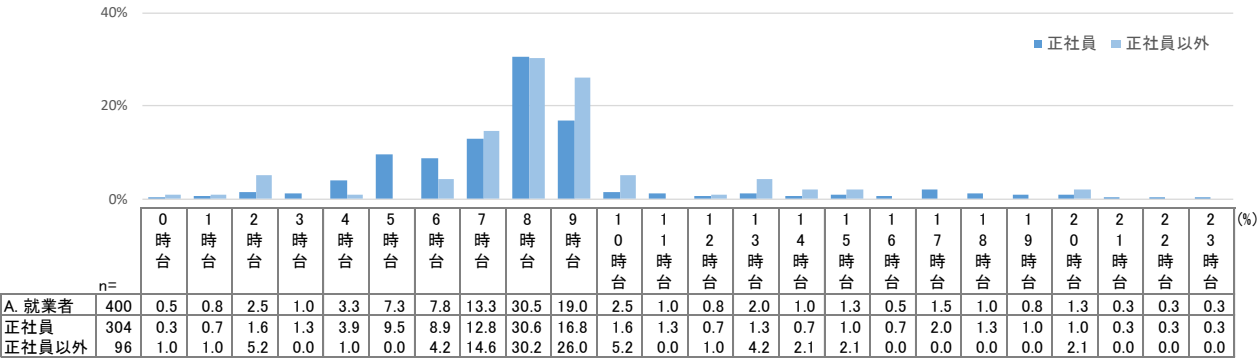
Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1週間の勤務曜日をお知らせください。（複数回答）

Q. あなたの勤務の時間帯であてはまるものをお知らせください。（複数回答）

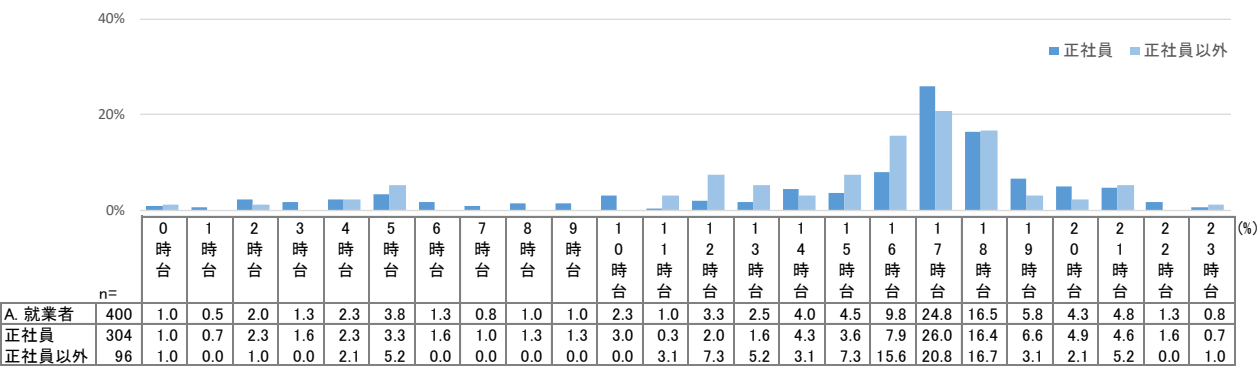
■ 1日あたりの
平均勤務時間



■ 就業開始時刻



■ 就業終了時刻



【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1日あたりの平均勤務時間をお知らせください。（数値回答）
- Q. あなたの勤務の就業開始時刻と終了時刻について多い順に3パターンを記入してください。／パターン1（数値回答）